

令和5年度上半期指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	サンフレンドうずら・児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市中鷲7丁目58番地		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	18,300,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積:2,037.00㎡ ◇延床面積:676.81㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書室、集会室、おもちゃ図書館、事務室、駐車場 ※障がい者センターとの合築で事務室ほか共有部分あり		

●利用状況

		R5上半期	R4下半期	R4上半期	R3下半期	R3上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	16,457	15,732	13,962	13,111	7,817
	移動児童館利用者数	408	288	136	123	57
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※15(11)	※15(15)	※9(9)	※9(9)	※4(4)
	開館日数(単位:日)	155	151	155	151	94

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①計画通り実施しました。閉館時間を17:15までとし、15分間を館内消毒・清掃時間とし、コロナ2.019対策に努めました。 ②所長及び常勤職員3人の合計4人(児童厚生員4人、保育士資格3人、教員資格4人) ③「おたより」発行、配布(小学校、公民館、南保健センター) 法人ホームページに掲載、活動内容を館内に提示しました。ホームページはスマートフォンにも対応し、お知らせなど児童館情報はブログや動画も用いて多くの子どもたちにタイムリーで効果的な広報活動に努めました。また岐阜市社会福祉事業団の統一した形式とし、当法人が管理している他の8施設のホームページとリンクを貼り、他館の情報も入手しやすくしました。 気象警報発令時などの情報は、迅速にホームページにUPするとともに、行事参加予定者に対しては電話連絡を行いました。 ④ご意見箱を設置し利用者からのご意見・ご要望をいただける体制としました。年に3回実施を予定している児童用、保護者用にアンケートの1回目を7月に実施しました。苦情・意見、児童館運営委員会での意見、アンケート結果は、逐次児童館内に掲示しているとともに、改善できるものは迅速に対応しました。 ⑤仕様書、事業計画書に基づき事業を実施しました。
自主事業 提案事業		
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①管理者点検マニュアルにもとづき保守点検を適切に実施しました。 ②施設の清掃は、職員による日常清掃と週に2回就労継続支援B型事業所清掃班による清掃をしました。快適で安全に施設を利用していただくため、エアコンの温度管理と換気、トイレの清浄には特に気を付けました。新型コロナウイルス感染防止については、入館時の対応、適正人数での運用などの利用時の対応、玩具、遊具、本の消毒など利用者の利用後の対応、閉館時間を30分繰り上げて施設全体を噴霧器とハンドスプレーを使用しての消毒を行い感染対策を徹底しました。 ③使用していない部屋の消灯の徹底、適正室温の設定等節水節電を実施。古紙、ダンボール、ペットボトル、空き容器などを材料として活用しリユースに努めました。 ④専門業者による遊具点検を1回実施しました。また、月1回の職員による施設の安全点検、月2回のAED器具の機能確認、毎日の消毒、清掃により、玩具、設備、備品の維持管理に努めました。

施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①緊急性のあるものは、岐阜市社会福祉事業団事務局及び岐阜市に即時報告して判断を仰ぎました。利用者の安全性が確保できないものは、安全が確保されるまで利用中止としました。軽微で予算内で対応可能なものは直ちに業者へ修理を依頼しました。 ②建物等大規模修繕は、岐阜市社会福祉事業団事務局を通して、岐阜市へ要望を提出しました。
危機管理法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施しました。また、災害や事故等、適切に岐阜市社会福祉事業団事務局並びに岐阜市へ報告する体制を構築しました。 個人情報が記載された用紙については、使用后すべてシュレッダー処理を行い個人情報の漏洩防止を徹底しました。 また、消防訓練の実施(7月)、非常用備品の確認を行い、期限の確認と不足品の補充も実施しました。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	<p><保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 期間: 令和5年6月27日～令和5年7月14日 回答者数: 58人</p> <p><小・中・高校生用アンケート> 期間: 令和5年7月1日～令和5年7月31日 回答者数: 50人(小学: 1年7人、2年5人、3年5人、4年3人、5年14人、6年7人) (中学: 1年2人、2年6人、3年1人)(高校: 1年0人、2年0人、3年0人)</p>
利用者アンケートの実施結果	<p><保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート></p> <p>【校区】 鶯(22人)、茜部(13人)、柳津(10人)、三里(6人)、厚見(3人)、その他市内(1人)、その他市外(3人)</p> <p>【年齢】 10代(0%)、20代(15%)、30代(69%)、40代(9%)、50代以上(7%)</p> <p>【利用頻度】 初めて(7%)、ほぼ毎日(1%)、週2～3回(9%)、週1回(40%)、2週に1回(35%)、月1回(7%)、その他(1%)</p> <p>【来館相手】 子(93%)、孫(6%)、友人(1%)、その他(0%)</p> <p>【子・孫の年齢】 0歳(26%)、1歳(32%)、2歳(40%)、3歳以上(2%)</p> <p>【来館方法】 徒歩(10%)、自転車(8%)、自家用車(82%)、公共交通機関(0%)、その他(0%)</p> <p>【何で知った】 ホームページ(59%)、広報紙・チラシ(1%)、学校(0%)、保育所・幼稚園(0%)、知人・友人(23%)、ぎふし子育て応援アプリ(5%)、ソーシャルメディア(1%)、その他(11%)</p> <p>【評価】</p> <p>(あいさつ) 満足(95%)、ほぼ満足(5%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(言葉づかい) 満足(96%)、ほぼ満足(4%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(利用者対応) 満足(91%)、ほぼ満足(9%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(利用しやすさ) 満足(74%)、ほぼ満足(24%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(整理整頓) 満足(81%)、ほぼ満足(17%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(清潔感) 満足(69%)、ほぼ満足(20%)、普通(9%)、やや不満(2%)、不満(0%)</p> <p>(換気) 満足(78%)、ほぼ満足(14%)、普通(8%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p><小・中・高校生用アンケート></p> <p>【学校名】 鶯小(38人)、境川中(8人)、その他市内(4人)</p> <p>【学年】 小学: 1年(14%)、2年(10%)、3年(10%)、4年(6%)、5年(28%)、6年(14%) 中学: 1年(4%)、2年(12%)、3年(2%) 高校: 1年(0%)、2年(0%)、3年(0%)</p> <p>【利用頻度】 初めて(0%)、毎日(12%)、週4・5回(14%)、週2・3回(34%)、週1回(16%)、その他(24%)</p> <p>【来館相手】 ひとり(26%)、友人(52%)、兄弟姉妹(10%)、父母(12%)、祖父母(0%)、親戚(0%)、その他(0%)</p> <p>【来館方法】 徒歩(28%)、自転車(56%)、自家用車(16%)、バス・電車(0%)、その他(0%)</p> <p>【好きな遊び】 ドッジボール(39%)、卓球(25%)、パドミントン(10%)、マンカラ(6%)、ぬりえ(5%)、その他(15%)</p>

<p>利用者からの 要望・苦情と 対処・改善</p>	<p><保護者></p> <p>・いつも明るくあいさつや言葉がけをしていただき、とても利用しやすいです。もしできれば、子どもが口に入れたおもちゃだけ入れるBOXを作って消毒してもらえるとより安心できると思います。(西児童センターで見て、良いなと思いました。)</p> <p>→消毒作業は定期的に行っていますが、ご心配をお掛けして申し訳ございませんでした。専用BOXを設置いたしましたのでご利用ください。またすぐに使いたい場合は、職員にお声かけください。</p>
	<p><児童></p> <p>・自分の近くに児童館があってほしい。</p> <p>→児童センターを動かすことができません。遠いかもしれませんが気をつけて来てください。待っています。</p> <p>・飲み物と食べ物をOKにしてほしい。</p> <p>→飲み物は、お茶や水は持って来て大丈夫です。ジュースに関しては、こぼしてしまうと大変になってしまいます。特におもちゃの上にこぼれてしまうと使用ができなくなるので禁止しています。食べものに関しては今考えています。もうしばらくお待ちください。</p> <p>・自動販売機を置いてほしい。</p> <p>→自動販売機の設置は難しいです。近くにあるコンビニや駄菓子屋さんで買ってください。</p> <p>・もう少し部屋がほしい。</p> <p>→部屋を増やすことは難しいです。遊びに来る子が多いと過ごせるスペースも少なくなりますね。その時は、職員に話しに来てください。一緒に考えていきたいと思っています。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	S	S
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	A	A	A
		区分評価				S
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費削減の具体的方策	・管理経費削減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	S	S
		⑬リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み
に対する評価

□インスタグラムによる広報宣伝活動(公平性・透明性②)
 インスタグラムを活用した広報活動、多様な手段で幅広い年齢層に、スピーディーに情報を提供できています。(上半期更新回数44回、671件のいいね)

□夏休み工作行事では、どんなものが作れるのかをわかりやすいように「夏休み工作の紹介」動画を作成しSNS(YouTube)に掲載しました。申込開始1週間ですべて定員いっぱいとなりました。(公平性・透明性②)

□鶴老人クラブとの共催「三世代フェスティバル」の実施(効果性③⑥・貢献性⑮)
 地域交流である鶴老人クラブとの交流会。今年度はフェスティバルとして多くの方が参加できる企画を実施しました。例年は下半期の寒い時期に開催していましたが、今年度は、うずらまつりを開催する予定であることから上半期に開催することになりました。鶴老人クラブとの交流会なので「昔遊び」にフォーカスして、けん玉やコマ、お手玉を使ったチャレンジ形式の出し物としました。開催の1か月前から看板を作成し、子どもたちに声かけをして、日々の遊びから交流会に向けて昔遊びに触れるようにしていきました。一緒に盛り上がりいい交流会ができました。

□0歳児対象「ぴよぴよタイム」を毎月2回実施(効果性③⑥)
 0歳児対象行事は、昨年度は毎回定員を超える申込があったため今年度から毎月2回を定期開催しています。内容は、講師による講座と職員による音楽あそびやふれあい遊びにして、そのあと一定の時間を設けて保護者同士や職員、鶴主任児童委員との交流時間としています。交流時間は、大変好評で時間いっぱいまで交流されている方が多いです。

□こどもうんえい委員会(効果性③)
 今年度から取組始めており、毎月1回開催しています。主に児童館のルールの制定や行事決めをしたり運営に携わるようにした内容で、「子ども中心の児童館」を目的としています。現在は、行事を決めたり、ポケモンの壁画を制作しています。

□「夏まつり」の実施(効果性③)
 幼児対象に「夏まつり」を開催しました。盆踊りを踊ったり、「金魚すくい」「わなげ」「たこやき」など夏まつりの雰囲気を楽しめるごっこ遊びをする企画でした。この企画では、異年齢の交流も目的であり、小学生以上の子どもたちにボランティアスタッフとして集めて2か月間かけて準備をしていきました。ボランティアは総勢40名になり、日々利用の時から制作や準備のお手伝いをしてくれました。

□遊びのリーダーシップ(効果性③)
 遊びにおいて子どもたちが中心となって進めてもらうことを基本にしています。初めてやる子や低学年の子に対してやり方やルールなどを教えている姿が見られるようになっていきました。

□運営ボランティア(効果性③)
 最近は「なにか手伝うことない」と自然に聞いてくる子どもが増えています。遊ぶだけでなく運営に関わってくれるようになってきたことは取組として成果が出ていると思います。手伝いながら話す機会も多くなり、信頼関係の築くことができています。

□目的、目標のある行事を定期開催と「来た時にできる」を実施(効果性⑥)
 子どもたちが遊びの中で、「目標」ができるように「～大会」を定期実施しています。優勝するために遊びに来て練習する子どもも多くなります。また、「目的」を作ることも行っています。今年からは「こどもうんえい委員会」「夏まつりボランティアスタッフ」など実施しており、行事に向けていろいろと製作や運営のお手伝いを行っています。定期的には実施していますが、「来た時にできる」もしています。習い事などいろいろな都合で日程調整が難しい子どもが多いため来た時にできるようにしています。そうすることで時間が空いたときに遊びに来てくれる子が増えました。

□当事業団児童館・児童センター所長9名による虐待防止委員会児童部門を開催。毎月、各施設での事例を参考に、虐待防止に向けた対応策について研究しました。(安定性・安全性⑬)

□虐待防止研修会の開催(5月・6月)(安定性・安全性⑫⑬)
 「児童虐待の実態」(中警察署職員)
 警察の視点での「虐待」について学ぶことができました。立場が違えば視点も変わるため大事なものは情報を共有することだと改めて知ることができました。情報共有することで「虐待」の早期発見につながるということを職員共通で認識しました。

□「居場所づくりとは」(ゆずりは所長)
 児童館で求められている「居場所」づくりにおいて、東京都の地域生活支援事業「アフターケア相談所ゆずりは」の所長による「居場所づくり」の考え方を学ぶ機会となりました。

□昨年度、「熱中症警戒アラート」が発令された際、玄関に表示をしましたが、今年度はそれに加えて暑さ指数を「危険」「厳重警戒」「警戒」「注意」「ほぼ安全」の区分で表示を行い、来館者に注意を促しました。特にホールでは、卓球やビリヤード、ピアノ、卓上ゲームで遊ぶことが多いですが、ホールはエアコンがなくとても暑くなります。そのため35℃以上猛暑であるときは、時間を制限したり、移動が可能な遊びは遊戯室や2Fホールなどエアコンがある場所で遊んでもらうようにしました。(安定性・安全性⑬)

□0歳児クラブに地元・近隣にいる関係機関による講座(貢献性⑭)
 0歳児対象に地元にあるアレルギー病院の先生による「赤ちゃんと病気」や皮膚科に先生による「赤ちゃんの皮膚」についての講座や鶴地区を中心に活動をしている先生による「リトミック」講座を開催しました。

□鶴小学校特別支援学級施設見学(効果性⑥、貢献性⑭)
 授業の一環である地域学習で、特別支援学級に通うクラスの子どもたちが見学に訪れました。施設でどんなことができるか遊びながら知ってもらえました。

□鶴小学校2年生施設見学(効果性⑥、貢献性⑭)
 授業の一環である地域学習で、2年生全クラスを施設見学に受け入れました。児童館を知ってもらえるきっかけになりました。また、障害者センターへの見学してもらい障害について理解を深めてもらえる場となりました。

□鶴小学校6年生による職場体験(効果性⑥、貢献性⑭)
 授業の一環である地域学習で、小学校6年生による職場体験を受け入れました。施設の体験を通して、児童館の興味・関心を高め、理解を深めてもらえました。また今回の体験学習を通して利用数が少ない高学年に知ってもらえるきっかけとなりました。今後も積極的に受け入れていきたいと思っています。

□近隣の大学や関連学校へボランティア募集・活動(貢献性⑭)
 聖徳学園大学、聖徳学園短期大学、中部学院大学へボランティア募集のポスターを配布しました。9月現在、3名のボランティアの応募があり登録しました。子どもたちと遊んだり運営のお手伝いしてもらっています。今後もボランティアを募り、活動の幅を広げていこうとしています。

□障害者センターとの交流会「陶芸をしよう」を実施(貢献性⑭)
 併設施設ならではの交流会を4年ぶりに開催しました。障害を持った方と子どもたちの交流を創作活動を通して行いました。陶芸はコップやお皿をイメージすると思いますが、今回は自分の好きなキャラクターにして、子どもたちにも簡単に楽しくできるように工夫しました。障害者センターの利用者の方も久しぶりに子どもたちと交流ができて元気をもらえたという声がありました。

□鶴主任児童委員との共催「カンガルー」を実施(貢献性⑮)

	<p>今年度より年間行事として年4回を計画しました。未就園児(0～3歳)までの子とその保護者を対象に行事を開催し、救命講習などをしました。主任児童員と保護者の交流をして、お互いを知ってもらえる企画となっています。</p> <p>□「サイエンスショー」の実施(貢献性⑮)</p> <p>昨年度に引き続き、科学に触れ合う機会を増やすために元理科教員である方や岐阜市科学館元館長を講師に科学を体験して触れ合う機会を企画し実施しています。</p> <p>□幼稚園との共催行事「幼稚園の先生と遊ぼう」を実施(貢献性⑮)</p> <p>幼稚園でしか遊べない遊具をサンフレンドうずら児童センターへ持ってきてもらい遊べる企画で、普段では遊べない遊具でたくさん遊べて高評価いただいております。</p>
<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>□下半期で2回アンケートを実施し、1回目のアンケートの結果を踏まえて改善するなど、広く利用者の意見を聞き、積極的に事業に反映させることができています。</p> <p>今年度も引き続き、学期毎でアンケートを実施していく予定です。7月に実施したアンケート結果をもとに改善と事業への反映をしていきたいと思ひます。</p> <p>□新たに施設でインスタグラムの運用を始めたり、保健センターにおたよりを配布したりするなど、工夫して効果的な広報に努めている。</p> <p>広報活動においては、新たな試みをしておりませんが、昨年度から実施していることを継続的に実施しています。特にInstagramにおいては、館内周知に加え、投稿頻度を高めています。現在は、100フォロワーを超えており引き続き広報に努めていきたいと思ひます。</p> <p>□好評である登録制の幼児クラブに加え、新たに自由参加の幼児クラブを実施したり、ニーズの高いクラブの開催回数を増やすなど業務改善をし、利用者増に努めている。</p> <p>毎学期毎に職員間で話し合い改善点を出して次学期へ生かしています。今年度は、0歳児対象行事のニーズが高いことから定期開催を1回から2回に増やしております。</p> <p>□地元の老人クラブや主任児童委員と協働で事業を実施し、地域との連携を深めている。</p> <p>地域との連携において、今後もより密に連携していきたいと考えています。今年度は、主任児童委員による共催行事も年間4回を計画しています。また、上半期では、地元の幼稚園の先生との共催行事も開催しました。今後いろいろな方面での連携に努めていきたいです。</p> <p>□自由参加イベントを実施し、幼児クラブを体験してもらうなど、利用促進につながる取り組みを実施している</p> <p>初めて来館される方も多く、気軽に参加できるイベントを用意しています。上半期も自由参加イベントやクラブも毎月開催しており、利用者も増えています。</p> <p>□動画撮影について子どもたちが企画も含めて参加するというのはとても評価できる。是非とも続けていってほしい。</p> <p>上半期は、夏休み工作を子どもたちにわかりやすく知ってもらうため動画で紹介しました。子どもたちの企画・制作は実施できませんでしたが、子どもたちからは、「卓球」を動画にしたいという声があるため、下半期に向けて実施していきたいと考えています。</p> <p>□施設の利用者の意見を見ると、家庭的な雰囲気作りができていて評価できる</p> <p>アウトホームな雰囲気、環境づくりには常に心掛けています。「また行きたい」「ここで遊びたい」「ここならずっといられる」と思ってもらえるように、今後も「雰囲気」「環境」づくりに心掛けていきたいです。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>□福祉・保育関連学校へ働きかけ、ボランティア育成(学生ボランティア)に努めます。</p> <p>□「子ども中心の児童館」を目指し、引き続き「こどもうんえい委員会」を定期実施し、子どもたちが企画・準備・実施していく取組をしていきます。</p> <p>□地域福祉を目指すために地域連携をもっと推進していきます。主任児童委員や保健師、地元の幼稚園や小学校と連携し共催行事等の実施などに努めてまいります。</p> <p>□学校や家庭に居場所がない子どもたちを支援するため、来館した1人ひとりの児童たちに目を配り、話しかけ、必要に応じて学校など他の機関との連携強化を図ります。</p> <p>また、事業団児童館長を中心に虐待防止委員会を組織し、研修・事例研究などを進めていきます。</p>

●所管課の意見

- 子どもたちが自ら児童センター内のルールや行事の決定に携わる「こどもうんえい委員会」の取組みを新たに開始し、子どもたちの意見を尊重した運営を実施している。
- 上半期で移動児童館を15回実施したり、近隣の学校の施設見学や職場体験を積極的に受け入れるなど、児童センターを知るきっかけを作り、利用者増に努めている。
- 地元の病院や併設の障害者センターと協働で講座や交流会を実施するなど、地元と連携して事業を実施することができている。

●指定管理者評価委員会の意見

所管課の意見のとおり、適切に管理運営されている。「こどもうんえい委員会」の取組みを行っていることが評価できる。子供の権利条約における「参加する権利」の尊重にもなっているので、今後も大切にしていきたい。